

Herbarium der 'Metropolitan University' zu Tokyo aufbewahrt; Isotypus im Herbarium TI.

● Diese Art ist der *Gentiana Arethusae* Burkill nahestehend, wovon sie sich durch ganz glatte Blattbasen, entferntere Internodien des Stengels, niemals fünf-gelappte Kronen und deutlich zweiteilige Falten unterscheidet.

● Diese auffallende Pflanze wächst innerhalb eines sehr begrenzten Areals der alpinen Zone auf der Insel Yaku, und dehnt ihre dicken und langen Wurzeln tief in die Kalkfelsenspalten aus. In Japan sind keine verwandte Art entdeckt worden, aber die Arten der Sektion Kudoa wachsen hier und dort im asiatischen Kontinent.

Meinen Lehrern, Herrn Prof. Y. Yamada und Herrn Prof. S. Akiyama, danke ich herzlich für die Anregung zu dieser Arbeit; Herrn Dr. Y. Satake statte ich meinen herzlichen Dank für seine freundliche Führung ab.

### ○本邦における *Draparnaldiopsis* の新産地 (秋山 優) Masaru AKIYAMA: Newly found localities of *Draparnaldiopsis* in Japan

本邦における *Draparnaldiopsis alpina* Smith et Klyver の産地はこれまで北海道積丹半島美国が唯一の地点であつた(筆者報告)。ところが最近東京教育大学の山岸高旺氏によつて新たに次の3地点が発見された。すなわち北海道中湧別(北緯44°11')の水田、旭川市新富(43°46')の水田わきのため池、新潟県新井市(37°0')の水田わきの水路で、いずれも人為的な水系区に属している。積丹美国および新井市では比較的通気の良好な流水系区に産しているが、中湧別および旭川市では極めて停滞した所である。また本邦ではこの藻の原採集地(米国カリフォルニア州 Fresno に近い Huntington 湖、北緯約37°)のような山間部に限られていないという点も興味深い。採集された時期は原採集地での出現期(6~9月)と同じである。

### ○温泉中に生育するシロゴケ (平林昭一郎) Shoichiro HIRABAYASHI: Notes on *Bryum argenteum* Hedw. growing in the hot spring

温泉中に生育する蘚類として *Bryum cyclophyllum*, *Philonotis laxiretis*, *Bryum japonense* などが渡辺良象氏により“蘚苔地衣雑報”no. 13に報告されているが、筆者も1例であるが1955年12月北アルプス高瀬溪谷葛温泉中に生育する *Bryum argenteum* Hedw. を発見したので報告する。北アルプス高瀬溪谷葛温泉(北緯36°29'20"。海拔943m)は大町市街より西方12kmの高瀬川沿に位し、附近はブナを主体としツガ、ヒノキ等のみられる地帯で、湯量極めて多く泉質は硫黄泉と単純炭酸泉である。本温泉中の金壺の湯は単純炭酸泉で、約150m上方の湯元より直接鉄管で引湯しており、途中鉄管の継目から湯が噴出し、直下にできた湯池(径1m、深さ20cm、温度38.5°C)の中で落葉と枯草がからみ合い、泥とともにできあがつた薄い固形物より発見したのである。温泉の成分、pH値は不明であるが、陸上種に比べ植物体は小さく繊弱で、先端のみ青白く下部は淡褐色で子器はみられなかった。いつもご指導いただいている東京共立薬科大学橋井久一、広島大学理学部安藤久次、信州大学教育学部羽田健三の諸先生方に感謝の意を表する。